

技術情報

J A全農やまぐち
TAC・営農推進課(083-988-0681)
平成 28 年 7 月 25 日 発行
第 221 号

セジロウンカの防除対策について

7月19日付けで、病虫害防除所からセジロウンカに対する技術資料が発表され、発生量が「やや多」の予想となっています。

つきましては、セジロウンカの被害が発生することのないよう、下記および「発生予察技術資料第3号」(写)を参考にご指導をお願いします。

記

1 今後の予想

- (1) 対象地域 県内全域
- (2) 発生量 やや多
- (3) 予想内容 飼料用米を中心に一部の多発ほ場では、褐変穂、黄化、部分的な坪枯れの被害が懸念される

2 防除対策

- (1) 防除の目安 株当たり 50 頭以上
- (2) 防除時期 7月30日～8月8日(幼虫最盛期)頃
なお、防除適期は8月3～4日頃

※ 「発生予察技術資料第3号」(写)の防除適期予測図を参照してください

- (3) 防除薬剤 表(平成28年山口県農作物病虫害・雑草防除指導基準)を参照し、特に飼料用イネについては使用の可否を確認してください

3 留意事項

- (1) セジロウンカはイネの分けつ抑制等生育を抑制するほか、穂ばらみ期から出穂前に成幼虫の密度が非常に高くなった場合、褐変穂等が発生することがあります。特に飼料用イネではインディカ型品種の「北陸193号」に限らずセジロウンカの増殖が旺盛で、被害の発生が懸念されます。